



令和6年度第4回学校運営協議会（CS会議）開催

令和7年2月13日(木)午後、学校運営協議会 兼 地域推進会議が上山中学校で開催されました。

1 開会のあいさつ 地域連携推進会議 原政之 鳥屋野公民館長

3月の上所駅開業に伴い、この地域は更なる発展が期待される反面、問題もあると感じています。学校、地域が連携して住みよい地域になるよう協力したいと思っています。よろしくお願いします。



2 校長あいさつ 桑原通泰 校長

十年に一度の寒波というニュースを聞き、学校でも登下校の心配をしましたが、降雪が土日であったため、生徒の通学に影響なく教育活動を進めることができました。地域でも積雪によって往來に影響が出てくると思いますが、外を歩く子ども達にも目を向けていただくとありがたいです。

3 令和7年度学校運営の基本方針の提案 桑原通泰 校長

令和7年度学校運営の基本方針(案)を作成する上で大切にしたい思い、アンケートから読み取れる生徒の特徴、育成したい生徒の資質・能力、育成するために重要と考える事項等の説明がありました。

キーワードは「協調・利他」

「しあわせ」でありたい。それは上山中学校に関わるすべての人の不変的願いと考える。では「しあわせ」とはなにか？ それは身体的、精神的、社会的に良好な状態であり、持続的継続的な幸福感(well-being)。そうした幸福感を継続的に維持するには高い協調性と利他的な思考ができることが極めて重要であると考ええる。

当会議で承認された令和7年度学校運営の基本方針については、新年度、教職員への周知はもとより、生徒、保護者、地域に対しても適時お伝えします。

4 情報提供および意見交換

(1) 令和7年度以降の部活動について 桑原通泰 校長

令和7年度入学の1年生に対して部活動の募集はせず、地域クラブ等への加入を推奨する。ただし、それ以降も中体連に設置されている競技を中心に担当者を置き、直接的な指導には当たらないが、連携協力は確実にやっていく。令和8年度3年生の活動が終了した時点で上山中学校の部活動組織は解体し活動を終了する。今後も頑張りたい生徒、頑張っている生徒の活動支援を柔軟に行っていく。

(2) 地域と学校パートナーシップ事業の報告および次年度に向けて 小林洋子地域教育コーディネーター 令和6年度活動報告、令和7年度活動計画が示された。

(3) 生徒の主体性を育む「校則見直し」活動の進捗 渡辺学 生徒指導主事

- ・ 生徒が、目指す学校像として「安心安全」「ワクワク」を実現する学校を提案し、教育ビジョンにも掲載され、定着してきた。そして目指す学校像達成のため、以下の3つの柱が設定された。

自主 身近なところから“礼儀”ありの親しい仲を築いていこう
協調 行事を通して協力し合い、縦と横の繋がりを深めよう
創造 上中生の笑顔で、上山地区のつながりを増やそう

- ・ 生活のきまり(校則)の見直しは、春の生徒総会で出た意見について生徒会が中心となって話し合いを進めた。11月の生徒集会でルールを守ることが大切という記述が多くあり、見直した結果、変わらないという結論にいたった。
- ・ 今後も目指す学校像の実現に向けた目標設定等を考えていくが、地域の声も聞かせていただきたいと思っている。

5 閉会のあいさつ 山崎光子 学校運営協議会会長

会議の中でいろいろな課題が出てきましたし、上山中学校が目標とするところは高く、先生も生徒も地域も一緒になって取り組まなければ、先に進まないのではないかと思います。

先日受講した研修会で「もっと熟議を」という話がありました。地域と学校がもっと手を繋ぐには何ができるのか、何をしなければならないのか、もう一步踏み込んだ話し合いをすることの必要性を学びました。来年度は地域が学校のためにできることを作っていかなくてはならないと思いますし、地域行政の力もお借りしながら進めることができたらと思っています。